

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

令和元年9月25日（水）

18:00 ~ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者

- ・佐々木俊博 委員（益田地域介護支援専門員協会前会長・くしろ宝寿苑施設長）
- ・品川弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
- ・中島保 委員（美濃地区社会福祉協議会元会長）
- ・豊田繁雄 委員（二条地区連合自治会長）
- ・永井安行 委員（利用者代表）
- ・岡崎トメ子 委員（利用者代表） わかくさ福祉会より
- ・石川恵里佳 委員（益田市高齢者福祉課） ・岡崎正興・又賀信子

1. 地域とのつながりを生かした共楽苑の行事について

《前回に議題となった予定を実施できたか、できなかったか、できそうか、等について話し合う》

・わらびとり

理事長が桂正寺周辺でマムシにかまれ入院したという事件があり、地域内でうわさとなり、恐怖感がたまたまのため、わらびとりの希望がなく、実施できなかった。

・ほたるまつり

まつり前（明るいうち）に行き、買い物に参加できた。

・ニコニコ会

「交流」というほど正式なことではないが、毎月1回利用される方は楽しみにされている。

・ふるさとまつり

利用者さんの作品を展示できるよう、苑内で創作活動を行っていきたい。

・美濃の里のひまわり

今年は行くことができた。（8月初め）。ひまわり畑で写真撮影ができる場所があったり、入り口通路に人工芝が敷いてあったりして、車いすの方も利用しやすく、ご配慮していただきとてもありがたかった。ひまわりも数十本いただいた。

・足王まつり

天候が下り坂となり、早めに切り上げるという連絡が入ったため、参加しなかった。

・お花見

桜、八重桜だけでなく、あじさい（木部・横田）も見に出かけている。

・買い物

あまり広すぎるところだと疲れるということなので、横田・江崎・緑ヶ丘のキヌヤが良い。普段は、買い物の希望があれば、地元の商店へ電話注文をしている。

・敬老週間

期間を決めて、地元の芸人さんや職員内の芸人さんを招き入れてイベントを行っている。毎年少しずつ内容は変えている。芸人さんの募集。

(話し合い) 芸人さんに謝礼を出すところと出さないところがある。  
共楽苑では出している。

- 美濃のごすけ号
- 絵手紙
- 本の読み合わせ
- 二条・美濃の歴史について

(話し合い) 委員の中には二条・美濃の歴史に詳しい方がいる。歴史のお話を聴く機会を設けても良いのではないか。  
美濃の桜田城には6メートルぐらいの展望台を設置した。散策の人が楽しめるように、登山道沿いの樹木に名札をつけた。

## 2. 事業報告

- デイの利用者の人数（延利用人数）としては、平成24年度から現在まで「横ばい」だが、介護度が軽度（要支援、要介護1）の方の利用が多くなっている。  
重度の方が少ないため、事業の収入としては減少している。  
要介護4もしくは5の利用者は、1日に1人か2人である。重度の方は、施設系のショートステイを利用されることが多い。
- ヘルパーの利用者は少なくなっている。
- ケアマネジャーの利用者も少なくなっている。

(話し合い)

家庭内に、もしくは地域内に、若い人がいないので、家で、地域で、過ごせなくなってきた。そういったなかでも、90歳、100歳を超えてもなおお元気で、自宅で過ごされている方も多い。

地域とのつながりが大切であり、貴重である。

配食サービスのおかげで、体調不良の方を発見することができる。

緊急通報装置（サスケ）は、すぐに対応してくれている。

津和野町では、スクールバスに高齢者が乗っても良いことになっているらしい。

益田の生活バスは受診用としては不便である。横田で石見交通に乗り換えなければならないので大変だ。

## 3. その他

- 10月より、消費税の値上げに伴い、利用料金が改訂されている。
- ヘルパーのほうでは、中山間地域等小規模事業所加算を算定する。

(議事録作成：又賀信子・岡崎正興)